

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.20 2010 3/1



大阪万博メモリーズ



ナカノシマ大学

中沢新一×釈 徹宗

「大阪アースダイバー
への道」

申し込み受付中!

2010

記念絵はがきセット1,200円。太陽の塔にエキスポタワー、各パビリオン、モノレール…未来的建築の祭典だった会場の模様を伝える32枚組。



大阪が、ニッポンが輝いていた40年前、空前の大イベント、「日本万国博覧会」が開かれた。大阪の中心たる中之島界隈にはいまま、その余韻が残る。まずは、こんなカフェの話から。

取材：文／松本創（本誌）

万博マニアな カフェがあつた！



大阪万博が、わたしの人生を変えました！



330haの会場を再現した1,000分の1模型はマニアの方の力作。ドーム内にエキスポランド、主要部は壁にと分けて展示。何せアカイもので。



写真入りサンバイザー1,000円。太陽の塔を誇らしげに頭にいただき、「農協さん」から町内会まで、さまざまな団体が会場を闊歩していた。

BARASHI!

EXPO



VIPの案内役「エスコートガイド」の制服は着用可。その姿で食事する人もいる。写真の万博ガールは、その場にいたお客さん。お似合いです。



全3巻の公式記録に写真集、当時のガイド本や雑誌の別冊、昭和のデザインやファッション関連本…。300冊を超す充実の「昭和と万博」文庫。



レトロポップかつサイケな図柄の会場イラストマッチは9箱一組で2,500円。40年経っても湿気ることなく、万博マニアのハートに火をつける。

大阪万博マニアは全国にあまたいるけれど、これほど充実したグッズや書籍・映像資料、そして熱き語り部に出会える場所はここだけだろう。天満橋の「EXPO CAFE」。店主の白井達郎さんが、おそらく日本一の万博コレクショントあの時代への追慕を惜しみなく注ぎ込んだ空間である。

少年時代に池田市へ移り住んだ白井さんは万博当時15歳。千里丘陵が「未来都市」に変わっていく過程を興奮しながら見ていた。開幕翌日から、会場の「水中レストラン」でアルバイトした高一の夏まで30回近く通い、すべてのパビリオンを見て回った筋金入りの万博ボーイだ。「建築物の大きさ、デザインの新鮮さ、映像や乗り物が見せてくれた科学技術の夢。何もかもがケタ外れのスケール。圧倒されました」。



主要パビリオン約50の写真と解説に、それぞれの記念スタンプを押印したスタンプブック1,000円。島民企業のパビリオン（P5）もほぼ網羅。



EXPO CAFE

ビジネス街にあるためランチメニューも充実。日替わり750円、パスタ各種700円など。ちなみにこの立地は「会社員時代、仕事でよく歩いたなじみの場所なんです」と白井さん。なるほど働く島民だったわけだ。106-7504-7365 日・祝休

そんな思い出をマニア同士語り合うのはもちろん、万博を知らない世代にも伝えたい、と開いたのがこの店。実際、太陽の塔のビジュアルや浦沢直樹『20世紀少年』あたりから入った20〜30代のお客さんも多い。「大きな夢が語られなくなった時代だからこそ、何でもありの万博は魅力的なんです」。

「EXPO CAFE」がある限り、大阪の夢、いや、ニッポンの夢は、シマで語られ続けるのである。



壁には、万博会場の建設過程や周辺の変貌を記録した貴重な写真の数々。昭和39年（1964）から千里の風景を追い続けている写真家・産木民彦さんの作品。



鉄板に赤ワインナー、目玉焼き。昭和40年代の味を再現した濃厚ナポリタン800円。会場の人気メニューをアレンジしたパフェ「EXPO天国」700円も。

「EXPO70 カクテルコンテスト」で優勝した「サンエキスポ」500円も飲める。饅頭からデザインまで、万博記念でさまざまなコンテストが開かれた。





猪熊弦一郎「垂直都市」

@OMMビル1階エレベーターホール

明るい空間に鮮烈なインパクトを与える作品は洋画家・猪熊弦一郎氏が万国博美術館の「現代の躍動」部門に出展したもの。OMMビルの竣工に際して、竹中工務店から寄贈された。漂う威厳と力強さに、思わずエレベーターへ乗り込む足が止まる。よく考えてみると、作品名と飾られている場所のつながりが意味深だ。



国立国際美術館

知らない人も多いかもしれないが、国立国際美術館の前身は会場内にあった万国博美術館である。世界中から展示品を集めたこの美術館は、それ自体が大きな作品だった。老朽化と収蔵スペースが狭くなったことから6年前に中之島へ移転。吹き抜け部分の壁に横たわる陶板壁画の大作、ジョアン・ミロの「無垢の笑い」はガスパビリオンに展示されていたもの。当時の名残を伝えている。

Memories of ART

大阪万博は当時のコンテンポラリーアートの祭典でもあった。
芸術家たちに大きな影響を与えた「万博遺産」を中之島でも見ることができる。

取材・文/大迫 力(本誌)



「マーキュリー」

@OMMビル前

OMMビルにはもう一つ、ビル南側の階段広場に万博遺産がある。万国博美術館に特別出展されたイタリアの国宝・マーキュリー像を模したもので、ビルのオープン3周年を記念して建立された。マーキュリーは商業神であり、プレートには「商都大阪の飛躍発展とその国際性と文化性の高揚を念じ」たとの由緒書きが見られる。



ルドルフ・ウハー「石と火」

@大阪大林ビル前

チェコスロバキア館にあった同作は、現在大阪大林ビルの前にそびえ立っている。大林組の社内報にも取り上げられ、大理石を豪快に組み上げた造形を評して「建築の本質に通じるものがあります。(中略)これを『建築発祥』の象徴と考え、このビルの正面に据えました」と紹介されている。まさに威風堂々といった印象である。

深めたいアナタに…見る、読む、大阪万博アーカイブス

大林組歴史館

大林組が関わった事業だけでなく、日本の建築・土木の歴史をたどることができ。会場内では多数のパビリオン建設に携わった会社だけに、万博関連の資料映像も所蔵。「造る」側からの視点を知ることができる。事前予約をすれば館内を解説案内をしてもらうことも可能。106-6946-4575 土・日・祝休

大阪府立中之島図書館

ビジネス関連書籍のほか、大阪資料・古典籍も多く揃う中之島図書館には、大阪万博にまつわる書籍も充実のラインアップ。『万国博覧会関係資料目録』で大阪万博関連資料を探ることができ、約100冊の中から自分の読みたいと思う本を閲覧させてもらうことができる。106-6203-0474 日・祝&第2木曜休

島民的パピリオン伝説

“ペラボーな未来”を詰め込んだパピリオンには、中之島界隈の企業も多数参加していた。今となつては「伝説」としか言いようがない気合の入りようは、ぜひ後世にも語り継ぎたい。

取材文／若狭健作(本誌) 写真提供／佐伯真澄 佐伯真一

「住友村」と言われるほど淀屋橋に集中する住友グループのパピリオンは、UFO船団か宇宙ステーションかと思まがうルックスの「住友童話館」。超

未来的カプセルに入れば、サルカニ合戦からシンデレラ、竜宮城まで、名作童話の世界を最先端技術で演出した光と音のスペクタクルショー。顔から診断するコンピューター性格判断もあり、常時行列の人気だったという。

中之島の阪大医専に通った手塚治虫は「フジパンロボット館」をプロデュース。ジャンケンロボやカメラマンロボ、踊り子ロボのステージが子供の夢をかきたてた。が、『鉄腕アトム』に科学文明批判を込めた本人はエッセイの中で「しよせんはバラックの見せ物小屋」「子供だましといわれるが、子供相手だからあれでいいんです」と、いたってシニカルに語っていた。

現在も「水と生きる」を掲げる島民企業サントリーは「生命の水」をテーマにサントリー館を出展。水と人間の歴史を追った深い映像、アラスカの流水でオンザロックをふるまうという大

人志向だった。竹を模したパピリオンに、「あれはサンダーバードの帽子や」と言い張る特撮マニアも現れた。



左から時計回りにサントリー館、古河パピリオン、住友童話館、電力館。また下の背景画像はみどり館。未来的建築の競演にすっかり魅せられ、建築やデザインの世界へ進んだ人びとも多い。

『月刊島民』編集部がある古河大阪ビルゆかりの「古河パピリオン」は、かつて東大寺にあつた七重の塔を再現。未来建築が並ぶ会場で異彩を放つたが、内部はコンピューターが作るユートピア、題して「コンピュータピア」の世界。声で指示するクレーンゲームはUFOキャッチャーの原型とも言われる。今橋通の大旦那・鴻池家が創設に関わった三和銀行を中心とする三和グループは「みどり館」。全天周囲の巨大スクリーン「アストロラマ」は当時世界最大の上映面積を誇った。が、人類史を描いた映像『誕生』はリアルなうえに迫力がありすぎて、「しばらくトラウマになった」と泣き笑いの少年も。中之島に本社をおく関西電力は、全国の電力会社と共同で「電力館」を出展。人類が火を使い始めてから原子力に到達するまでの歴史を描いた映画『太陽の狩人』を上映。引田天功によるマジックイリュージョンは、原子力への期待を表現していたらしい。さすが実力派ぞろいの島民企業。万博への貢献度も大なのであった。

「パピリオン」の伝説



(上) 正面にプール、右に海水魚、左に淡水魚の水槽があった水中レストラン。内装の斬新さもあって連日満員だった。写真提供/リーガロイヤルホテル (左) 松本シェフはホテル1階や百貨店で展開する「グルメブティック メリッサ」などの料理を統括。

万博ゆかりの料理人たち。

取材文/大迫力 松本創(本誌)

リーガロイヤルホテル 惣菜料理長 松本則雄さん

万博会場で人気を集めた「水中レストラン」。厨房を支えたのは、当時23歳だった松本則雄さんら、新大阪ホテル(現・リーガロイヤルホテル)の若手料理人たちだった。「連日の徹夜、泊まり込み。経験した

ことのない忙しさでした」。開店初日に用意した1箱300尾のエビは2時間でなくなり、翌日から4箱に増やした。豚肉の銀串焼きが当時で1000円、鉄板焼きステーキが2800円。それでも飛ぶように売れた。フランス館で初めて食べた本場のソースにうなった。大阪万博は、日本の食文化の「開国」でもあった。



醤油の味を活かした料理がテーマでした

醤油メーカーがスポンサーだったため、「西洋料理に醤油を」という使命も託されていた。バター醤油や醤油ドレッシング。まかない料理から生まれ、当時「邪道」とされた味も、いまやスタンダードだ。肉や魚のソースに、ピラフの隠し味に。松本さんが統括するホテル惣菜にもその味は活きている。「活気があり、夢があった時代。僕らもいろんな挑戦をした」。青春を振り返るシェフの弁である。



パビリオン対抗のサッカー大会では優勝したよ

ドイツレストランローレライ クッチマン・ロールフさん

オーナーシェフであるクッチマン・ロールフさんは、かつてドイツ館の職員だった。英語が話せるのを買われ、パビリオンで出す料理の食材仕入れを担当。「どこも満員。毎日すごい量の料理が出てね。1日4000人は来たかな」。その後、昭和49年に最初の店を開店して以来、大阪でドイツ料理の店を続けている。「万国博覧会」はやはり外国人の方の目にも強烈な印象を残した。「開催してから大阪はずいぶん変わった。大きな建物がどんどん建ってね。ヨロツパと比べたらものすごく速いペース」。まさに三波春夫の歌を地で行くクッチマンさんの店には、今もまれに万博を懐かしんでやってくる客がいるそうだ。

店内の写真にはサッカーのユニフォーム姿のクッチマンさんが。「それぞれの国のパビリオンのスタッフでチームを作って大会をやった。優勝したんだ」。106-6341-0043 6:00PM~10:30PM 日・月曜休



大阪万博が もたらしたものの。 橋爪紳也

「万博以前」「万博以後」という言い方が大阪の現代史によく登場する。それほど大阪にとって、日本にとって、画期的な出来事だったのだ。では、それは今にどうつながっているのか。博覧会事情に詳しい橋爪紳也先生に聞いてみた。

取材・構成／松本 創(本誌) 写真提供／EXPO CAFE

以前、関東のあるFM局が「最も記憶に残る戦後の出来事」「足を運んだ戦後のイベント」という趣旨のアンケートを取ったところ、両方とも1位は大阪万博でした。東京五輪は2位。万博はそれほど国民に強烈な印象を残しました。奇跡的な戦後復興を経て、高度成長を果たした日本が、世界に向けて自らの位置づけを示すべく開いた“国家的祝祭”だったからです。

当時私は小学4年生。17、18回行きました。万博西口駅を降り、住友電話館や松下館が見えると、未来へつながるゲートに思えたものです。三菱未来館では巨大映像に衝撃を受け、サンヨー館の人間洗濯機に驚き……。父の会社が塗装を担当したアメリカの企業館を見るのは誇らしかったし、外国人を見ればサインを求めました。見たことのないモノ、経験したことのない空気が、大阪万博は、私の人生を決めた原点です。

高度成長期の持っていた
総体としてのパワーに学べ。

それが大阪や中之島の街に何をもたらしたのかという質問ですが、例えば1960年代後半から70年の交通網整備に限って



も、新御堂筋や阪神高速池田線の開通、中央大通や船場センタービルの建設、御堂筋は南向き一方通行になり、地下鉄堺筋線が開通する一方、大阪市電は全廃……、いくらでも例はあります。特需の恩恵を受けた企業や業界もあるでしょう。建築やデザインの世界に与えた影響も大きい。要は、万博で提示された実験的な試みと最先端の技術、さらに、あの時代が持っていた創意工夫や前向きに挑戦する精神。そういった総体としてのパワーを感じ、学ぶべきなんだと思います。

今年5月に開幕する上海万博には、日本の都市で唯一、大阪府・市が公式に共同出展します。テーマは「環境先進都市・水都大阪の挑戦」。なにわ大放水路を模したトンネルに造幣局の桜並木を映し、川や水辺とともにある大阪の歴史を紹介します。天神祭や昨年の「水都大阪2009」の模様、大川の船からの眺めなど、中之島絡みの映像も多いですよ。大阪館のある「ベストシテイ実践区」は、世界の代表的都市が先進的取り組みを競い合う万博史上初めての企画。大阪は、水処理や植物工場などの環境技術をアピールします。

大阪万博の精神は、こんな形でも40年後の今につながっているんです。



はしづめ・しんや
1960年、大阪生まれ。大阪府立大学の教授、府政策アドバイザーなど多数の肩書きを持つ都市文化や観光・まちづくりの専門家。上海万博大阪出展実行委員会のプロデューサーを務めている。

2010年3月1日発行



ナカノシマ大学のウェブサイトで、毎月の講座に申し込みができるほか、これまでに行われた講座のレポートなども見ることができ、このサイトに、月刊島民編集部が選りすぐったスポットを紹介するページ、「月刊島民プレ



月刊島民が紹介する
中之島の遊び方
Webサイトができました



第1回「橋を渡らない中之島なんて」では、天満橋・難波橋・淀屋橋・錦橋・堂島大橋の5つの橋が登場。デザインのポイント、鑑賞方法などが見られる。

スガ送る中之島の遊び方」が新たにできた。

毎回一つのテーマを立てて、コラムと5つのスポットをご紹介。第1回のテーマは中之島の名物的存在である「橋」。特集や連載などでお届けしてきたものの中から、よりコンパクトに見どころをまとめた内容になっている。

今後はテーマを変えながら随時更新していく予定。地図も一緒に見られるので、ナカノシマ大学の講座の行き帰りなど、中之島へ足を運ぶ際の参考に大いに活用してください。(大迫力・本誌)



わたしと月刊島民
ハート株式会社 森克典さん

かつて淀川はたびたび氾濫し、流域の住民たちを悩ませる存在であった。それを解消すべく立ち上がったのが、放出出身の大橋房太郎であった。11年の歳月をかけて働きかけを続け、大阪の人々の念願だった淀川の付け替え工事を実現。“治水翁”と呼ばれるゆえんである。

大阪の「治水翁」を偲ぶ
DVDが登場!



「昨年(1909)の事業完了から100年というメモリアルイヤーだった。それを記念して、大橋の曾孫にあたるシャンソン歌手の中村扶実さんは、オーケストラを従え自作の交響詩を大阪市中央公会堂にて初披露した。その様子を収録したDVDもリリースされた。「水と共生す

る」という想いをのせて歌う中村さんの歌声はもちろん、会場となった中央公会堂大集會室の荘厳な雰囲気も見どころの一つ。堂島にある「ティールハウムジカ」などで販売しているのので興味のある方はぜひ(1066345・5414)。(大迫力・本誌)



昨年の秋に中之島のマンションに引っ越してきました。もともと街歩きが好きで、都心部に住んでみたいと思っていたんです。散歩するにはうってつけだし、北に行けば福島、南に行けば肥後橋など、おいしいお店のある街にも囲まれており、住むには申し分ありません。『月刊島民』は見学に行ったマンションパビリオンでもらったのがきっかけで読み始めました。企業向けの封筒などを作る会社でシステム部門を担当していますが、ずっとコンピューターを触っているのですが、紙の媒体はいつでも読めますし、メディアとしては永遠ですね。そうそう、うちの会社でも一般の方向けに「クオレットィ」という少し高級感のある封筒や便箋のネット販売を始めました。同じ「紙」に関わる者同士、これからも応援しています。

アンケートへのご協力ありがとうございました
第17号・19号にて読者のみなさんへお願いしたアンケートには、たくさんの方々のご回答をいただきました。中には誌面をコピーし、裏表に渡ってぎっしりと書いてくださった方も…(涙)。一通一通に目を通しながら、みなさんの熱い声援を感じたのであります。アンケート結果は、今後の誌面づくりに役立てていきます。ありがとうございました。

大阪が誇る多彩な才人、ここに結集！

た し さい さい 多 才 多 才

人こそ力@大阪のまち

わかぎさふ	ヤマモトヒロユキ	中崎宣弘	山西輝和	マシーン原田
大谷 煥	今中博之	黒木一成	くまざわあかね	山本草弘
森 勇介	田中良和	有栖川有栖	松本雄吉	小笠原匡
藤原 明	小原啓渡	谷口純弘	木ノ下智恵子	間藤芳樹
李 秀明	北川フラム	中西美穂	伊東雄三	堂野智史
宮本勝浩	野村卓也	一柳良雄	吉崎かおり	須知裕曠
松下俊一	山口洋典	伴 一郎	六波羅雅一	山崎 亮
木田好子	高口恭行	河内厚郎	加藤義夫	泉 英明
澤田 充	村上太胤	中村重男	内田幸児	金 秀吉
古月幸江	福 マキ	江 弘毅	松尾カニタ	ジャイアンパンカー
北口 正人	塩屋 俊	アヅミカ	孔 怡	高島幸次
熊谷真菜	笹井良隆	北川 央	中野亮一	芝川能一
小嶋淳司	土居年樹	寺田千代乃	西川益通	中井政嗣
丸谷明夫	鷺田清一	重里欣孝	西濱秀樹	亀井哲夫
長谷川恵一	大西隆	松本孝	木村皓一	帯野久美子

※本掲載順

大阪21世紀協会ホームページ『大阪ブランド情報局』の人気連載『多士彩才』。
大阪を愛し、文化・まちづくりなどいろいろいるなジャンルで、

大阪を元気にしようと活躍しているアーティスト・クリエイター・プロデューサーなど、
多彩な才人75名を、一挙で紹介した同コンテンツを、このたび書籍として出版いたしました。

●A5版240ページ 定価/1700円 発行/財団法人大阪21世紀協会 発売/新風書房



財団法人 大阪21世紀協会

ご注文は、大阪21世紀協会まで。
〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1
大阪キャッスルホテル4F

Tel.06-6942-2004

Fax.06-6942-5945

中之島にあった大阪大学の医学部では4年間勉強したが、講義にはほとんどともに出なかった。だから自慢ではないが、講義のノートは1ページも残っていない。代わりに、『East Medicine (フレッシユ・メディスン)』というガリ版刷りのクラス内同人雑誌が、8冊残っている。これはHという級友が創刊したもので、ポールペン原紙に手書きし、手動の輪転機を使ってわら半紙に印刷して、ホチキスで止めただけの代物だった。一部100円でクラス内に販売し、毎号60〜70部売り上げた。

私は絵が得意だったので、表紙を頼まれて参加した。当時から文学志向もあったが、なんとなく照れくさくて、文章は出さなかった。しかし、できあがった雑誌を見ると、別に気取る必要もないことがわかり、2号から終刊の8号まで、表紙に加え、短編小説と「ガツクリハウス」というお笑いのページを書いた。

『ガツクリハウス』というのは、当時、パルコ出版から出ていたサブカル雑誌、『ビックリハウス』のパロディで、学内のゴシップ記事や替え歌、おふざけアンケートなどを書いた。

内輪ネタで恐縮だけれど、「顕微鏡破壊事件」というのがあって、それは今読み直しても笑える。組織学の実習室で、暴れていた2人の医学生が、顕微鏡を入れた棚をひっくり返し、高価な顕微鏡を壊してしまった事件である。

小中学生ならいざ知らず、大学生が実習室で暴れて貴重な備品を壊すなどというのは、いか

かなものか。しかし、かく言う私も、病理の実習中にボクシングのまねごとをしていて、教授から「まじめにせいっ」と一喝されたら、同じ記事に書いてあった。大学生の幼児化は、そのころからはまじっていたようだ。

顕微鏡を壊した2人は、弁償すべく、級友からカンパを募った。タダでは申し訳ないと、猿回しの芸などやって、大いにクラスの喝采を受けたと記事にはあった。この兩人、今や1人は某国立大学の医学部教授、1人はスポーツ医療で日本有数の名医になっているから、人間とはわからないものである。

小説のほうは未熟もいところだが、ひとつ奇妙な作品があった。『標本室』というタイトルで、気の狂った男が赤ん坊を誘拐&殺害し、医学部の古い標本室に忍び込んで、殺した赤ん坊を標本にして立ち去るといふ無気味な話だ。少し引用してみる。

はっとして振り向くと、大きなガラスビンの中で頭の二つある赤ん坊が両の首を傾げて座っていた。注入された液はビールのように黄ばんでいる。隣には、肌の真っ白な、頭の

ない赤ちゃんがはいっている。体を前に倒し、顎を突き出してその恐ろしい顔で飛びかからんかのような格好だ。(略) その横には、男の顔の断面がある。首だ。まるで模型のようだが、歯は黄ばみ、舌はふくれてねじれている。

このようにグロテスクな標本室の描写が、延々と続くのだが、実はこの部屋にはモデルがあった。

当時、阪大の医学部には2つ標本室があり、この連載の「中之島のブラックジャック」で書いた全身の刺青標本は、明るく整備された「表の標本室」にあった。ここにはまじめな(?)標本もあったが、思わず首を傾げるようなもの



中之島ふらふら青春記⑩ 久坂部羊 医学部の“ウラ標本室”

もあった。たとえば、女性器の標本。しかも、処女、非処女、経産婦と並べて展示する念の入れようだ。指導教官は、処女膜の説明をしたあと、「こういふのがあるときは、ヤランように」と言った。女子学生もいたから、今なら「セクハラY」と糾弾されるところだが、30年以上前のことで、「婚前交渉」などという言葉が生きていた時代の話である。

表の標本室でこれだから、「ウラの標本室」がいかに「めくるめく世界」であるかは、想像に難くないだろう。

ウラの標本室は、実際には見捨てられた標本室で、一般の医学生はその存在を知らなかったと思う。私とその部屋を「発見」したのも、偶然だった。

講義を受ける階段教室には、途中で退出する学生のためか、後ろに出口があった。そのまま階段を下りると、校舎の裏口に出られるが、踊り場にだれも使わない扉があり、好奇心の強い私は、どこにつながっているかとそれを開けてみた。埃の積もった通路があり、床にはゴミや廃材が散乱していた。奥へ進むと、お化け屋敷のような部屋があって、ドアノブをまわすと、無気味な音を立てて扉が開いた。

それがウラ標本室で、かつては実習に使われていたようだが、私が見つけたときには、もう何年も人が立ち入った形跡はなかった。もう棚に並んでいたのは、先の小説にも引用した

グロテスクな標本の数々である。シヤム双生児、無脳児、ハンセン氏病、奇形腫、梅毒、脊椎カリエス……。無気味で恐ろしい標本が、埃まみれのガラス瓶でホルマリン漬けになっていた。標本瓶はふたに球形の把手がついた古風なデザインで、貼られたラベルには、流麗な手書きのラテン語が書き込まれていた。

メアリー・シェリーの『フランケンシュタイン』を読むまでもなく、医学にはある種、無気味な一面が含まれる。この標本室は、かつての医学が、ゲテモノ博物学と紙一重だったことを思い知らされるような部屋だった。

私はこの標本室が気に入る、何度も講義を抜け出しては、ひとり密かに訪ねた。そして、薄暗い部屋で、古びた標本との対面を続けた。その間、私の頭にあったのは、この標本がすべて、実際に生きた人の身体の一部で、それぞれに人生があったということだ。

標本の口に残っている金歯、指にはめたままの指輪、腫瘍で歪んだ頬。いったい彼らはどんな思いで生き、苦しみ、悲しんだのか。それに對して、医学は何をしてきたのか。彼ら病人から標本をもらっただけのことを、医師たちはきちんとしたのだろうか。

医学の進歩は、あからさまな言い方をすれば、常に患者の犠牲の上に成り立っている。患者を研究の材料とし、治療の実験を積み重ねて、今の医療がある。逆に言えば、患者は医学の進歩のためにこそ、その身を提供して医学に協力し

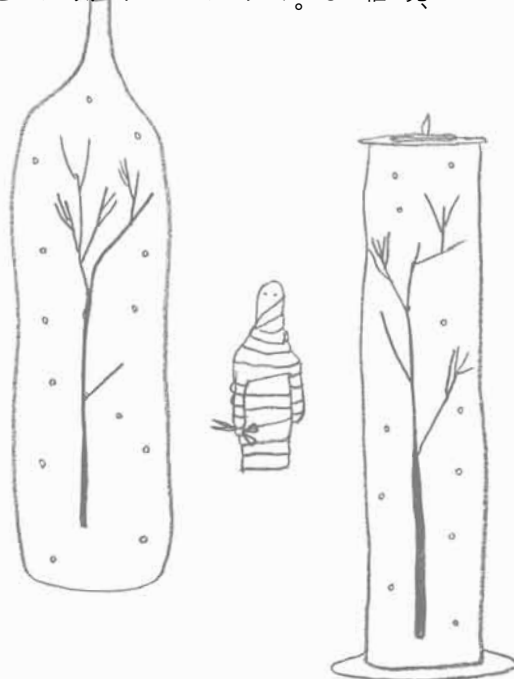
てくれるのだ。珍しい病気だから標本にして終わりでは、申し訳が立たない。

埃にまみれ、ホルマリンも黄ばみ、だからも顧みられることのない標本を見ながら、私はこの医学部が、その責任を果たしたかどうかを考えて続いていた。

大学を卒業したあとも、私はこの標本室を何度か訪れた。モノ書きの友人を案内したこともある。出入りはまったく自由で、扉には鍵もかかっていなかった。なんと無防備だったことか。その気になれば、生首を持ち出すことも可能だったのだ。その気にならなくてよかったが。

阪大の医学部は、1993年に中之島から吹田に移転した。それに伴い、このウラ標本室も撤去されてしまった。

保管されていた標本がどうなったのか、私は知らない。



くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。去年『メフィスト』に発表した短編『祝葬』が、アンソロジー『ミステリ愛。免許皆伝！メフィスト道場』に収録され、今月発売の予定。



2010年 4月講座	<h2>「大阪アースダイバーへの道」</h2> <p>中沢新一 <small>多摩美術大学 芸術人類学研究所 所長</small> 釈 徹宗 <small>浄土真宗本願寺派住職</small></p>
---------------	--

上町・生野・鶴橋・住吉、
縄文時代の地図を持って歩いたら…
現代の大阪のことが見えてきた!



アースダイバー
(講談社 / 1,890円)

手製の地図を片手に東京の街を歩いた中沢氏が、縄文時代の地勢の特徴から現代の都市風景のルーツを明らかにしていく。ダイナミックな想像力と豊かな物語性は大きな反響を呼んだ。第9回桑原武夫学芸賞受賞作。

2005年に上梓された中沢新一氏の『アースダイバー』(講談社)。縄文時代の地図を現在の地形に重ね合わせることから、渋谷や秋葉原が「どうしてこんな風景になったのか」を読み解くという大胆な試みは、各分野で大きな話題となった。そんなアースダイビングの次なる舞台として、発刊直後から中沢氏が注目していたのが大阪であった。今年の

夏には『週刊現代』にて連載も始まる予定という。

さて、東京をホームグラウンドとする中沢氏には、「現地コーディネーター」役がいた。それが本誌でもおなじみの釈徹宗先生である。すでに昨年には2人だけのお散歩のようなフィールドワークも行われたそうで、「大阪アースダイバー」への準備は着々と進んでいるようだ。

ナカノシマ大学は中沢氏の連載開始に先駆け、二人による対談をセッティング。時間や空間を一気に飛び越えていく中沢氏の想像力に、釈先生が大阪に土着の宗教や歴史の補助線を引くことで、アースダイビングの精度はどのように高まりを見せるのか。「知らなかった大阪のこと」満載の壮大なスケールのダイアログをお届けします。

募集要項	<p>「大阪アースダイバーへの道」 講師/中沢新一 (多摩美術大学 芸術人類学研究所 所長) 釈 徹宗 (浄土真宗本願寺派住職)</p> <p>日時/4月16日(金) 7:00PM ~ (開場6:00PM ~) 会場/追手門学院 大阪城スクエア →地図P23 (京阪電車・地下鉄天満橋駅徒歩7分) 受講料/2,100円 定員/400名 主催/ナカノシマ大学事務局 共催/追手門学院 協力/大阪21世紀協会 多摩美術大学芸術人類学研究所</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学4月講座」受付係 FAX.06-4799-1341 http://www.nakanoshima-univ.com/</p> <p>※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。 ●ナカノシマ大学に関するお問い合わせは事務局まで106-4799-1340</p>
------	---	--

大阪城が
目の前にそびえる、
追手門学院
大阪城スクエア

今回の対談の舞台となるのは、1月講座に続いて「追手門学院大阪城スクエア」。ホールの窓からはすぐ向こう側にそびえる大阪城を一望することができる。大阪城が建つ上町台地は縄文海進期においても海に沈むことがなく、古代から連綿と歴史を紡いできた場所。古代と現代にまたがるテーマを語るにはぴったりのステージと言えそうだ。



ジュンク堂書店
ヒルトンプラザ店で、
「中沢新一×釈徹宗」
フェアを開催!

ナカノシマ大学開催を記念して、[ジュンク堂書店ヒルトンプラザ店]では、3月1日から講座が行われる4月16日まで、講師のお二人の著作を集めたフェアを開催。『アースダイバー』はもちろんのこと、中沢氏の『カイエ・ソバージュ』シリーズ全5巻を1冊にまとめた豪華特装版も揃う。講座当日の会場でも書籍販売の特設ブースが登場!



店長 小笠原 準さん



対談記念インタビュー 釈 徹宗
「大阪の古代には何があったのか、
中沢先生と二人で探してみたい」

中沢新一先生とは一度、大阪の街を二人で歩いたことがあります。その時はまだ本にするとか何も決まっていなかった時期で、一人でふらっといらっしやいました。道ばたで小さな祠を見つけたりすると、祀られた狐に向かって「いい顔してるねえ」と声をかけながら写真を撮ったり、ほんとに物腰の柔らかい方です。

『アースダイバー』は宗教に対する新しい扉を開いた本だと思います。縄文時代の土地や地形が現代にどうつながるのか、ああいう視点で人間を捉える試みは新鮮でした。内田樹先生もブログや著作でよく引用しているように、いろんな分野の人に影響を与えたんじゃないでしょうか。だって何の領域の本って言えないでしょう。古代と現代を結びというアイデアは学術的な証明ができるものではありません。時間も空間も越えていく壮大なストーリーです。中沢先生のお話には、大きく膨らんだテーマが最後に一つにつながっていくカタルシス、快感があります。

中沢先生は『アースダイバー』の次の舞台は大阪だと直感していたそうです。京都でも鎌倉でもなく大阪というのが面白いでしょ。大阪は石山本願寺があった中世は宗教都市として、その後は軍事都市、商業都市として発展してきました。ただ、中世以前の都市の性格をイメージすることができないんです。それを二人で探してみたいという冒険心がありますね。もう全勢力を注ぎ込んで、スポンジになった気分で吸収したい。しかも会場は大阪城の目の前ですか。上町台地は縄文海進期にも沈んだことのない場所です。かつては難波宮もあった所ですし、対談のテーマにはぴったり。楽しみですですね。

●旧石器時代～縄文時代の大阪地図

温暖化により海水面が一気に上昇した縄文海進によって、現在の大阪市域はほとんどが海の下に。ただ、上町台地だけは沈んでいないことが分かる。



2万3000～2万年前



5500年前 大阪市文化財協会編『大阪遺跡』創元社刊より

21世紀の懐徳堂プロジェクト 3月の時間割

ナカノシマ大学ほか、中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂

●Handai-Asahi中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

6	土	1:30PM~ 3:00PM	「古代語の謎を解く」蜂八真郷(文学研究科教授) 受講料:1,500円 日本の古代のことばについて、形や意味を変えたりしながら現代でも用いられるものを中心に、その語の成り立ちや由来を考えます。国語学の、語構成を研究する立場から、いろんな語の表すところに迫ります。
---	---	-------------------	---

会場/大阪大学中之島センター

インターネット、電話、ファックスか、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込みすることができます。

問い合わせ/朝日カルチャーセンター(中之島)106-6222-5224 <http://www.asahi-culture.co.jp/index.html> 106-6222-5224 FAX06-6222-5221



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、京阪電車中之島線ななこ橋駅地下1階の[アートエリアB1]。3月のラインアップはこんな感じ。

5	金	6:00PM~ 9:00PM	中之島哲学コレーージュ/シネマ哲学カフェ『精神』定員:80名 これまでタブーとされがちであった精神科にカメラを入れ、その世界をつぶさに観察したドキュメンタリー映画『精神』を上映。 「こころの病」や「正気」と「狂気」の境界線に、正面から向き合って、考えてみましょう。進行:橋本亮(大阪大学文学部4回生) カフェマスター:本間直樹、西川勝(大阪大学CSCD教員)
10	水	6:30PM~ 9:00PM	実践型:オルタナティブカフェ「映画をつくらう」定員:40名 裁縫からスタートした「実践型」オルタナティブカフェですが、今回はなんと「映画」をつくります。その場で集まった見知らぬ人々と対話し、役割分担し、撮影を通じた即興の映画制作から何がみえてくるのか。ご参加ください。カフェマスター:久保田テツ(大阪大学CSCD教員)、甲斐賢治(NPO remo、NPO recip 各理事)、家成俊勝+大東翼(ドットアーキテツ)
16	火	6:30PM~ 8:30PM	サイエンスカフェ「阪大大学院生による数学・物理の最前線への招待5」定員:30名 大学院生3名が数学と物理の最先端をご案内。基礎科学研究の世界をわかりやすく解説します。テーマは「CP対称性とクォーク~小林先生・益川先生の発見~」ほか。ゲスト:大阪大学理学研究科学生チーム(大阪大学大学院理学研究科博士課程) カフェマスター:平川秀幸(大阪大学CSCD教員)、浅野建一(大阪大学大学院理学研究科物理学専攻 准教授)
17	水	7:00PM~ 9:00PM	哲学カフェ「対話力を鍛える/批判する」定員:50名 批判とは何なのでしょうか。批判することによって、議論はより一層深まります。今回の哲学カフェでは、どのように質問すれば議論に批判的にかかわることができるのかを考えながら、実際の議論に挑戦してみましょ。進行役:岡辺裕美、深田千晃(大阪大学文学研究科博士前期課程) カフェマスター:本間直樹(大阪大学CSCD教員)
24	水	7:00PM~ 9:00PM	シアターカフェ「語る演劇・大阪出張編」定員:50名 九州の演劇やまちづくりに関わる人たちに、場に根差した活動や作品作り、地域における演劇のポテンシャルについて語っていただきます。地域での表現の可能性を一緒に感じてみませんか?ゲスト:市原幹也(のこされ劇場=主宰)、河野ミチユキ(ゼロロ=代表) カフェマスター:運行(大阪大学CSCD特任研究員、劇団衛生)
26	金	6:30PM~ 8:30PM	サイエンスカフェ「阪大大学院生による数学・物理の最前線への招待6」定員:30名 大学院生3名が数学と物理の最先端をご案内。日頃なかなか知ることのできない基礎科学研究の世界をわかりやすく解説。テーマは「さまざまな冷却法~氷点下の世界へ~」ほか。ゲスト:大阪大学理学研究科学生チーム(大阪大学大学院理学研究科博士課程) カフェマスター:平川秀幸(大阪大学CSCD教員)、浅野建一(大阪大学大学院理学研究科物理学専攻 准教授)
30	火	7:00PM~ 9:00PM	鉄道カフェ「鉄カフェをみんなで考える11」定員:30名 我こそは!という鉄道ファンから、全くの初心者まで、幅広い層が参加する鉄道カフェ。参加者によるプレゼンテーションや素朴な疑問から派生した議論など、鉄道に関する様々な情報交換と対話が繰り広げられています。カフェマスター:久保田鉄、木ノ下智恵子(大阪大学CSCD教員)

会場/アートエリアB1

参加費/すべて無料

開場/それぞれ開始30分前から

問い合わせ/[カフェの内容について]大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) 106-6850-6111(豊中キャンパス代表)

[場所などについて]アートエリアB1 106-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください

※申し込みは不要ですが、当日先着順とさせていただきます(入退場自由)。※お客さま参加型のプログラムです。



大阪カルチャークラスター!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。*ワークショップについてのお問い合わせは各店舗へお願いします。

6	土	3:00PM~ 5:00PM	「春色シュシュを作ろう!」Le'Kao(アクセサリー作家) 定員:6名 参加費:1,500円 インポートの生地を使ってオリジナルのシュシュをハンドメイドします。お申し込みはタビエスタイルまで!	会場 C
9	火	7:30PM~ 9:00PM	「クリエイターのための英語ワークショップ」Duncan Brotherton(デザイナー) 受講料:1,500円 クリエイターのための「使える英語」を、いくつかのシチュエーションの中で英語を使うワークショップ形式で学びます。	会場 A
12	金	7:00PM~ 8:30PM	「キング・ふしぎ発見!~エルヴィス・プレスリーのすべて~」国木田かつば(俳優・タレント) 受講料:1,500円 エルヴィス・プレスリーの偉業とユニークな人間性を検証するクイズ形式のアカデミック・バラエティです。	会場 A
14	日	0:30PM~ 5:00PM	「Plain Life 革小物教室」尾崎 美穂(革小物作家) 受講料:5,000円(材料費・テキスト・ドリンク代込み) millibar salonでお茶をしながら物作り。基本のカタチに工夫を加えて、あなただけの革小物にチャレンジです。	会場 B
15	月	7:30PM~ 9:00PM	「美術史ははじめの一步《6》」樋口ヒロユキ(美術評論家) 受講料:1,500円 カフェでゆったり美術史を楽しむ、初心者向けの講座です。美術の見方がよくわからないという方もお気軽にどうぞ。	会場 A
16	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ!~古今東西名作朗読会~」石原正一(役者・作演出家) 受講料:1,500円 古今東西の名作を参加者全員で読みまくる夜です。具体的に配役に分けて、名作文章の世界を楽しんでいただきます。	会場 A
17	水	7:30PM~ 9:00PM	「だれにでもできる貼り絵」チャンキー松本(アーティスト) 受講料:1,500円 鉛筆やペンのかわりに色紙を使って、イメージしたものを形にしてみましょう。	会場 A
20	土	1:00PM~ 5:00PM	「くろみぼたんでオリジナルアクセサリーを作ろう」原いつか・itukaituka(靴下作家) 参加費:ネックレス2,500円、プレスレット2,000円、ヘアゴム1,500円(材料費+お茶+お菓子付き) 定員:各回3名 「昔ながらの手法で作るくろみぼたん」を体験でき、作ったくろみぼたんでアクセサリーをつくれます。 ※スケジュール詳細は店舗HP参照	会場 C
21	日			
28	日			
21	日	10:00AM~ 1:00PM 2:00PM~ 5:00PM	「トリ・スクール」岡山 拓(美術家) 受講料:2,500円(1ドリンク付き) 展覧会カタログを参照しながら、初めての人でも分かるようにゆっくり美術史や各種ムーブメントについてお話をします。	会場 B
22	月	1:00PM~ 4:00PM	「at any rate any time -簡単で楽しいポーチ作り!」niko(布小物作家) 参加費:1200円(おやつ付) 定員:各回5名 直線縫いだけポーチ♪。あのカラーとその柄と、いろいろ選んでポーチを作ろう! 持ち物は楽しいキモチのみ。	会場 C
27	土			
29	月	7:30PM~ 9:00PM	「情熱の学校プレゼンツ トークの学校」エサキヨシノリ(プレゼン・デザイナー) 受講料:1,500円 自分の考えや想いを相手にちゃんと伝え、また自分の良さを、自分らしく相手の心に届けるためのトークセミナーです。	会場 A
30	火	7:00PM~ 8:30PM	「楽しむ紅茶」納多寿恵子(ティーライフコーディネーター) 受講料:2,000円(紅茶・お菓子付き) おいしい紅茶の淹れ方と、紅茶の効能や産地、TPOにあわせた楽しみ方などを紹介します。紅茶とお菓子をいただきながらの講習会です。	会場 D
30	火	7:30PM~ 9:00PM	「ブルデューを読む」江弘毅(月刊島民編集発行人)×山納洋(common cafe) 参加費:1,000円 ビエール・ブルデューの著書『ディスタクシオン』を素材に、「文化資本」という概念について探求していきます。	会場 A

A common cafe

大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1F 106-6371-1800

<http://www.talkin-about.com/cafe/>

B 欧風食堂 ミリバー

大阪市西区立売堀1-12-17 artniks bld. 106-6531-7811

<http://www.artniks.jp/millibar/>

C タビエスタイル

大阪市中央区南船場4-4-17 B1 106-4963-7450

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/>

D フレイムハウス

大阪市中央区淡路町1-6-4 106-6226-0107

misalele39@gmail.com <http://www.katana.cx/~fureimu/>

一人の感動

最高の音響、照明でドラマチックな舞台を演出。

コンサート、スポーツ、コンベンションなど、

さまざまなイベントに対応するどビッグなアリーナです。

財団法人大阪城ホール

〒540-0002 大阪市中央区大阪城3-1

TEL.06(6941)0345 HP・<http://www.osaka-johall.com>

地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅下車徒歩3分

JR大阪環状線「大阪城公園」駅下車徒歩5分

研修会、講演会、展示会に、

コンベンションホール(150人収容)をご利用ください。



追手門学院と 大阪と2010年上海万博

追手門学院発祥の地である大阪城周辺は上町台地と呼ばれ、難波宮が置かれたり、遣隋使や遣唐使の出港地になったりするなど、古代から中国と関係のある先進的な地域でした。追手門学院はそうした上町台地の歴史や伝統を再発見するべく「上町学」と名付けて2008年からさまざまな取り組みを進めています。また、追手門学院大学は2007年に国際教養学部を開設し、2009年から2011年までの3年間に「国際交流推進年」と位置づけ、学生向け留学プログラムの充実など、国際交流に力を入れています。

追手門学院と追手門学院大学は大阪の伝統ある私学として2010年5月に開催する上海万博を応援し、日本はもとより世界に向けて存在感を高め、国際交流と国際理解教育をさらに推進します。

追手門学院は上町の歴史と文化を再発見するために
上町学『古都おおさか』プロジェクトに取り組んでいます

●これまでの取り組み

- 第1回: 有栖川有栖&河内厚郎 対談「大阪城は知っている」
 - 第2回: 林家染丸 高島幸次 河内厚郎「上町台地と上方落語」
 - 第3回: 笠谷和比古 旭堂南陵「大坂燃ゆ」
- 上方ルネッサンス2009: 桂吉坊 脇田晴子「楽劇の祭典～オープニング」

3月6日(土) 13:00～17:00 河内厚郎「歌舞伎の古都を巡る～名作所縁の地を歩く～」

参加費無料 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ: 追手門学院大手前センター TEL.06-6942-2788

【上海万博応援イベント】 入場無料・申込不要

追手門学院大学国際交流推進年「上海万博を大阪の活性化に」

上海万博フェスタ in OSAKA

3月23日(火) 10:00～16:30 会場: 大阪国際交流センター(地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅下車)

●講演会 13:30～15:00

堺屋太一(追手門学院小学校(偕行社)59期、作家 上海万博日本産業館総合プロデューサー)
アグネス・チャン(歌手、教育学博士)

●アトラクション 11:00～12:00

- 吹奏楽団の演奏、チアリーディング部の演技、少林寺拳法部・中国武術部の演武、茶道部、華道部、写真部、美術部によるファッションライブなど。
- 小籠包や蒸し餃子など上海の食が楽しめるコーナー(会場2階「さくら」)や追手門学院大学茶道部によるお茶席(会場3階「和楽庵」)もあります。※いずれも有料
- その他、トークライブなど盛りだくさんな催しを予定しています。

お問い合わせ: 追手門学院大学入試広報課 TEL.072-641-9165

来場者には、抽選で
上海旅行や万博グッズをプレゼント!!
※スタンブラリーへの参加が条件です。



堺屋太一



アグネス・チャン



学校法人 追手門学院

<http://www.otemon.ac.jp>

追手門学院大学

追手門学院中・高等学校

追手門学院大手前中・高等学校 追手門学院 大阪城スクエア

追手門学院小学校

追手門学院幼稚園

シマにまつわるあれこれの名刺を勝手にデザイン
ワタクシ、こういう者です。
デザイン/長友啓典

MJB 珈琲店 滝屋橋店內
七色の珈琲



大阪市中央区北浜4-1-1
石原ビル地下1階
電話:06-6203-0078
平日:午前7時半~午後10時
土曜:午前8時~午後6時
祝日:午前9時~午後6時
日曜 定 休

月曜日 アラビアン珈琲
火曜日 プリティッシュ珈琲
水曜日 ウィンナー珈琲
木曜日 フレンチ珈琲
金曜日 メキシカン珈琲
土曜日 ブラジリアン珈琲
日曜日 アメリカン珈琲

◎名刺のココロ

毎日違う国の珈琲を飲み、色々な国に想いを馳せたい。そんな時、こんなカップだったら楽しいなあ。という、希望を込めたデザインです。このカップ、ほんとに作ってくれたらいいのに。

ながとも・けいすけ

1939年大阪生まれ。1964年日本デザインセンター入社。1969年黒田征太郎とK2設立。エディトリアル、各種広告を手がけるほか、多数の小説に挿絵、エッセイを連載。自身が手がけた名刺デザインをまとめた『成功する名刺デザイン』（共著・講談社）も発売中。

おはようございます。
七色の珈琲です。

いつもありがとうございます。
え、ご存じなかったですか？

そうなんです、実は私、7人いるんですよ。
何て言うんでしょうねえ、チームと言いますか、
1人で7役とでも言いますか、

なんせ毎日ちよつとずつ違った私が登場するわけです。
いやいや、色が違うわけじゃありませんよ。

紫だの緑だのいるんな色のコーヒーがあったら、
それは楽しいかもれませんけれど(笑)

そうじゃなくて、味が変わるんですよ。
毎日お会いする方が多いもので、飽きられないようにと思ひまして、

え、日曜休みなら七色じゃないって？
えーと、まあ、そのへんはご愛嬌ってことで。

「ぜひあの人の名刺を」「あの場所を擬人化して名刺を作ったら面白い」などのリクエストを募集します。

桂 最終回を飾るのは、川崎橋です。

み江 島の少し上流にある橋ですね。

桂 両岸にある公園を結ぶ橋で、万博公園から中之島まで続くサイクリングロードの一部にもなっています。

み江 この橋は華があるなあ。川にそびえる高い塔に、アシンメトリーなケープル。なんと堂々たるオシャレぶり。

桂 この華やかさには、ワケがありません。われわれが中之島の橋を知る上で欠かせない『大阪の橋』という本があるのですが……。

み江 橋にまつわる技術はもちろん歴史も古い文献からていねいに掘り下げている、スゴイ本です。

桂 著者の松村博^{※1}さんは大阪市橋梁課出身。川崎橋は、氏が設計に関わった代表的な橋のひとつなのです。

み江 おお、川崎橋に負けず劣らず、シユツとした紳士だと聞きました。

桂 氏の『大阪の橋』に詳しい解説があるのですが、昭和53年（1978）完成と比較的新しく、大川筋に架けられた橋としては戦後初。諸先輩の橋を立てつつ新しい風景をつくるよう、ビジュアルに細心の注意を払ってつくられたそう。

み江 このへんの橋にとっては歳の離れた弟分のような存在ですね。蝶よ花よと育てられた坊ちゃんだ。

桂 ゆとりある時代に生まれ、車からも守られる好待遇。上空に道路が重なるお隣の天満橋あたりとは雲泥の差。

み江 しかしこの形の橋がこの場所にあるのが不思議な感じ。斜張橋^{※2}だっけ。

桂 スパン（塔と塔の間隔）を飛ばせるので、天保山大橋や横浜ベイブリッジなど、長大橋に多い形式です。

み江 街中にあるからこそ、のびやかな姿が人目を引きまします。それが歩行者と自転車の専用橋という役割におさまっているという意外性がおもしろい。

桂 しかし吊り構造の橋は揺れやすいのが難点なのです。

み江 ああ、ミレニアム・ブリッジ^{※3}みたいな問題が起きたら大変だ。

桂 そこで選ばれたのが、六角形の断面を持つ、特徴的な桁。これが風に対する揺れを防いでいます。

み江 桁裏を覆う鋭角的なカバーには、そんな意図があったのか。

桂 そして歩行者と橋の固有振動数が合わないように設計。実際に橋を使いはじめの前に、歩行実験も行ったそう。

み江 ということは、いわゆる吊り橋効果は期待できない、と。夜にはライトアップされ、橋上からはシマも大阪城も遠望できるというムーディーな環境だけに、ある意味残念ですね。

ぼむきかく たかぎみ江 平塚桂の2人による建築ライターユニット、「カーサ・ブルータス」ほかの雑誌にも執筆。「けんちく家対決 や「けんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

Talk about bridges!!

橋の話しよう 最終回

川崎橋

文/ぼむ企画
絵/網本武雄(本誌)



すぐそばを京阪電車が駆け抜けてゆく。その向こうには大阪城が。

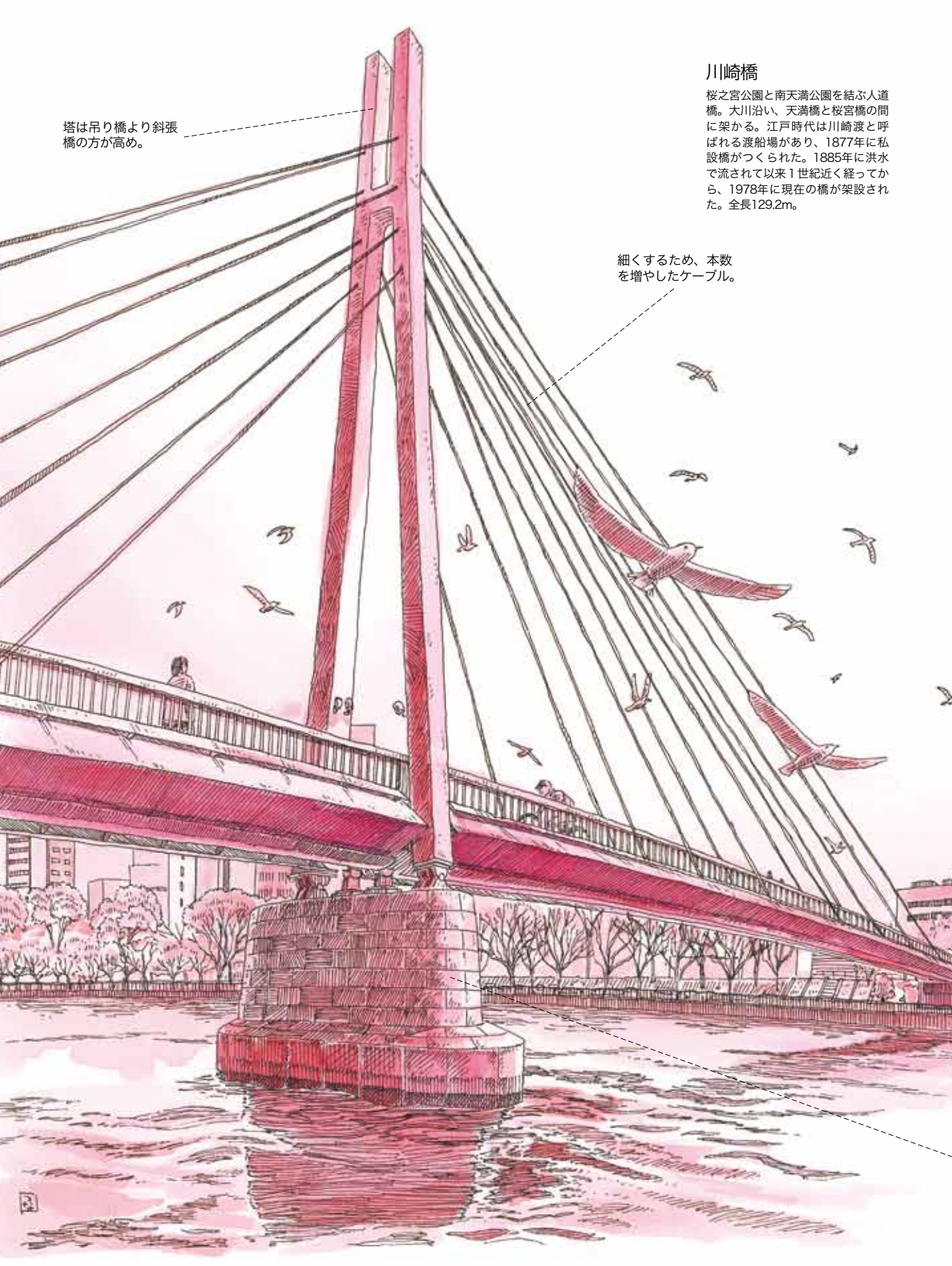
揺れにくい六角形断面の桁。

※1 松村博 1944年生まれ。大阪市土木部橋梁課に勤務後、阪神高速道路等を経て(株)ニュージェック顧問。著作に「日本百名橋」「八百八橋物語」など多数。

※2 斜張橋

吊り構造の橋形式のうち、塔から斜めに張ったケーブルで橋桁を支える構造。塔に渡したメインケーブルから桁を吊る吊り橋と区別してこう呼ばれる。

※3 ミレニアム・ブリッジ イギリスで西暦2000年を記念し、鳴り物入りでつくられた歩道橋。大勢の歩行者の足並みが揃う橋揺れが原因で開通3日後に閉鎖。現在は通行可能。



塔は吊り橋より斜張橋の方が高め。

川崎橋

桜之宮公園と南天満公園を結ぶ人道橋。大川沿い、天満橋と桜宮橋の間に架かる。江戸時代は川崎渡と呼ばれる渡船場があり、1877年に私設橋がつくられた。1885年に洪水で流されて以来1世紀近く経ってから、1978年に現在の橋が架設された。全長129.2m。

細くするため、本数を増やしたケーブル。



大阪マルシエ ほんまもん通信

vol.6
2010.3.1

あの大人気品種の 焼いもが手に入るかも。 [はちくまカントリー]の 焼いも 1本150円～

鳴門金時の焼いもは、毎回行列が絶えないマルシェの人気商品。徳島・鳴門海峡の砂地で作られる鳴門金時は、糖度が高いさつまいもとして、すでに人気があり、いくつか品種もあるが、こちらでは「松茂美人」を使用。冷めても甘さはそのまま、ラップにくるんでレンジで温めると簡単にほくほく感がよみがえる。さらに毎回20本限定で、クリームのような食感と甘さの安納芋のやきいもも用意。開店と同時に完売するので、朝一番に並ぶべし。



揚げたてコロッケはみんな大好き。 [ぶーぶーコロッケ]の コロッケ 2個100円～

「アレルギーを持つお子さんにも食べてもらいたい」と考えだされた、卵不使用のコロッケ。具には有機野菜と無添加調味料、衣は岩手県産の減農薬の小麦粉とパン粉をまぶし、無添加の米油でひとつひとつ揚げている。細かい粒子のパン粉を使うことで、油が染み込みにくく、軽い食感。甘めの味の「ぶーぶーコロッケ」や、コショウをピリリと効かせた「塩コロッケ」など4種類。良心価格もあって、取材日は330個用意したコロッケが、3時間で完売



from
大阪・茨木市

「人生のいちごでありたい」が 信条のいちご農家。

[森のいちご]の いちご大福 1個200円～

光農園を営むこちらのイチオシは、香川でしか栽培できない「さぬきひめ」。季節によっては花をつけてから収穫までに60日間。甘さのピークに達してから収穫するため輸送には不向きで、市場にも出回らない入手困難ないちごなのだ。農園でのいちご狩り用に作っている「さぬきひめ」をもっと味わってほしいと、地元菓子店と協力してロールケーキや大福にしてマルシェに参戦。そのまま食べて十分おいしいのだから、大福がハズレのはずはない。



from
香川・木田郡

生産者の方々が畑からそのまま届けてくれる野菜やくだものを中心の大阪マルシエだが、実はそれだけではない。焼いもや、むしまんが湯気をほくほくさせているかと思えば、とれたてのいちごを使ったスイーツなど、買ってその場でいただけるものもどんどん登場している。今回のマルシエにはどうぞお腹を減らしていらっしやいませ！

すぐに食べられる マルシエの“人気者”

from
滋賀・高島市



噛めば噛むほど、感じる甘さ。

[わかか]のむしまん 1個200円

むしまんは、あんはもちろん、皮の味がそのおいしさを左右するもの。減農薬で栽培した、小麦「ふくさやか」の全粒粉を使用。精白しないことで、小麦粉の甘みと歯ごたえがずっしりと感じられる。農薬や肥料を使わずに野菜やお米も作っているの、中に入るあんはもちろん自家製の野菜たち。その時、とれた旬のもので、常時3種類ほどを展開。この日のおすすめは「りんごにんじんのジャムまん」。にんじんのやさしい甘さがにじみ出る。



from
大阪・高槻市



カラダが喜ぶものしか、入ってません。

[陶芸&オーガニックカフェ寿]の オーガニック弁当 800円

マルシェに出店している「いが野の農園」の野菜など、自然農法（無肥料・無農薬・無堆肥）で育てられたものを中心に使用。「肥料を使った野菜に比べて濃さが全然違う」とオーナーの角さん。そしてこのお弁当を特徴づけるのは、「長岡式酵素玄米」という玄米。専用の圧力釜で大豆や塩を入れて炊き上げるこの玄米は、人間の体に必要不可欠とされる酵素を多く含む。腸で食べ物の消化を助ける働きをしているので肥満防止にも。玄米だけの販売もあり。



キッチンカーも登場!

3/7の鶴見緑地マルシェは屋台気分です。

大阪マルシェをはじめ、全国のマルシェを統括するマルシェ・ジャポンが各地で行っているPRキャラバンが大阪にもやって来る。3月7日(日)、鶴見緑地公園で開催されるマルシェ会場にキッチンカーが登場。大阪マルシェに並ぶ食材を使ったメニューが販売される。腕を振るうのは心齋橋の気鋭のフレンチレストラン「ドゥアッシュ」の中田貴紀シェフ。「ホタテ貝ときのこのブルゴニユ風」「大阪梅ピーフと煮込み春キャベツ〜しそ香り〜」など、どれも地元の味を生かしたメニューばかり。3月7日のマルシェは屋台気分を楽しみたい。



デッキの上に約40席のイスとテーブルをご用意。料理はすべて1,000円前後で、売り切れ御免につき早めの来場がオススメです。



このもちちは、何度でも食べたくなる。

【素材菓子オリジン】のむしばん 1個100円〜

こちらのむしばんはふんわりした見た目と、もちもちした食感が特徴。北海道産の小麦粉、オリゴ糖が含まれるてんさい糖、そして九州から取り寄せる遺伝子組み換えなしの大豆からとれる豆乳などを使って、独特の食感を作っている。洋菓子のパティシエだった柏原さんが、アレルギーを持つ娘さんのために作りだしたむしばんは、甘酒や、かりんなど現在8種類。一番人気のショコラは、豆乳に合うベルギー産のチョコを使ったガナッシュがとろけます。



from
大阪・豊中市



from
和歌山・伊都郡

◎3月のほんまもんカレンダー

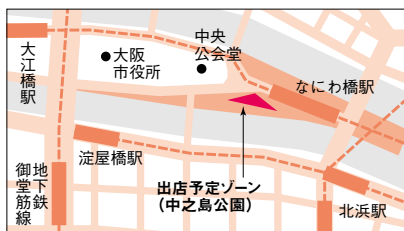
※小雨決行、荒天中止とさせていただきます。※開催時間は諸事情により、急ぎよ変更になる場合があります。※主催者側では駐車スペースをご用意しておりません。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 中之島朝市 9:00~14:00
7 鶴見緑地公園 10:00~15:00	8	9	10	11	12	13 中之島朝市 9:00~14:00
14 この日はお休み	15	16	17	18	19	20 中之島朝市 9:00~14:00
21 靱公園 10:00~15:00	22	23	24	25	26	27 中之島朝市 9:00~14:00
28 大阪天満宮・中之島 10:00~16:00						

マルシェ・ジャポン
キャラバンも登場!

天満宮には日本酒
PRブースも登場!

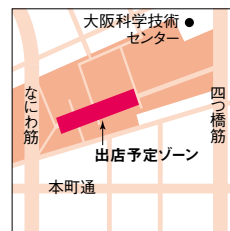
[中之島公園]



[鶴見緑地公園]



[靱公園]



[大阪天満宮]



カレンダー・生産者情報・出品物リスト・アクセス...
大阪マルシェの公式サイトができました!

www.osaka-marche.info



二つ星フレンチ&大阪マルシェ「ほんまもん」
～仏と大阪のマリアージュ～

新感覚の大阪体験ツアーをお届けする「大阪旅めがね」による、「ルポンドシエル」のランチと、お花見クルーズ、そして東横堀川界隈のまちあるきを楽しむツアー。大阪城から桜を見ながらクルーズした後、シェフとともに新鮮な春の大阪地野菜を中之島朝市に探しに出かけ、ルポンドシエルによる、この日だけの健康になる特別料理を楽しみます。大阪城の外堀であった大阪最古の堀川「東横堀川」にかかる橋や水門など水辺の街あるきも満喫。

開催日/3月27日(土)
集合場所/大阪城港
時間/10:00～10:20 お花見クルーズ
10:30～11:00 マルシェ見学
11:00～12:00 東横堀川界隈の街あるき
12:00～13:00 ランチ

参加費/8,980円(税込・事前振込)
定員/20名(申込先着順)
申し込み方法/ <http://www.tabimegane.com/>からお申し込みください。もしくは106-6624-8500(大阪旅めがね)までお電話ください。申込受付は3月24日(水)までです。
※現地集合・現地解散、雨天の場合は出発時間やコースなどが変更になる場合があります。

ブリーゼサロン特別企画
ブリーゼ・マルシェツアー

ブリーゼブリーゼが主催するのは、ビル内のお店でいただくマルシェの食材を使ったランチがセットになったツアー。これまでフレンチやイタリアンのレストランと協力して開催してきたが、3月は日本料理の老舗【なだ万】がプロデュースする和食ダイニング【ジバング バイ ナダマン】。大阪マルシェで食材について学んだ後、地上33階の素晴らしいスカイビューを眺められるテーブル席にて食事を楽しめる。

開催日/3月20日(土)、27日(土)
時間/11:30～12:30(マルシェで買いたいもの)
13:30～15:00(ランチ)
参加費/3,000円(ランチ代・税込込み)
定員/各回20名
申し込み方法/氏名・電話番号・希望日時を明記し、salon@breeze-breeze.jpまでお申し込みを。各回2日前まで受付。
※現地集合・現地解散、雨天中止・小雨決行となります。



マルシェコラボツアー
いろいろ

あたたかくなってきて、歩くのが楽しい季節。マルシェと連動したツアーも増えてきました。

どこでやっているの?
出店してみたい!
ちゅーもマルシェをやってみて...

お問い合わせはなんでも
マルシェ・ド・大阪テロワール実行委員会(事務局)
10724154500

地元のものが、一番おいしい

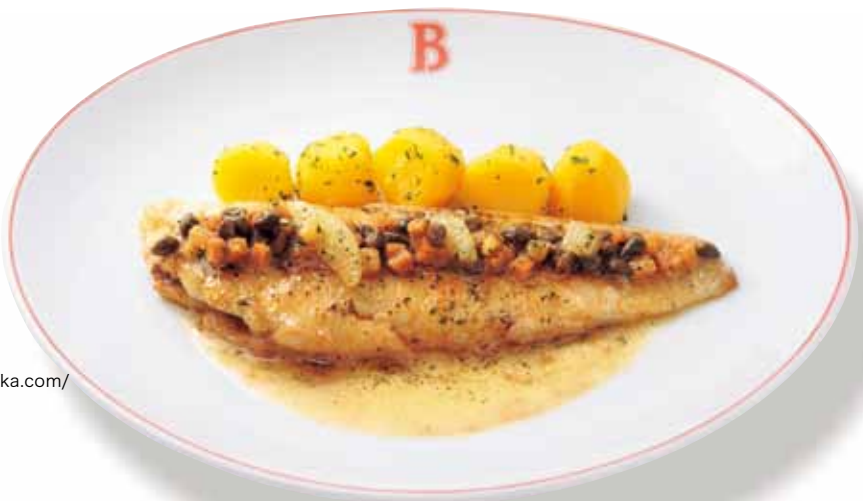
泉州産
赤舌平目のムニエル
グルノブローズ

¥2,700

大きな赤舌平目を焦がしバターでふっくらと焼き上げました。レモンの酸味と、ケッパーやクルトンの食感が華やかなアクセントになり、魚の旨みを引き立てます。

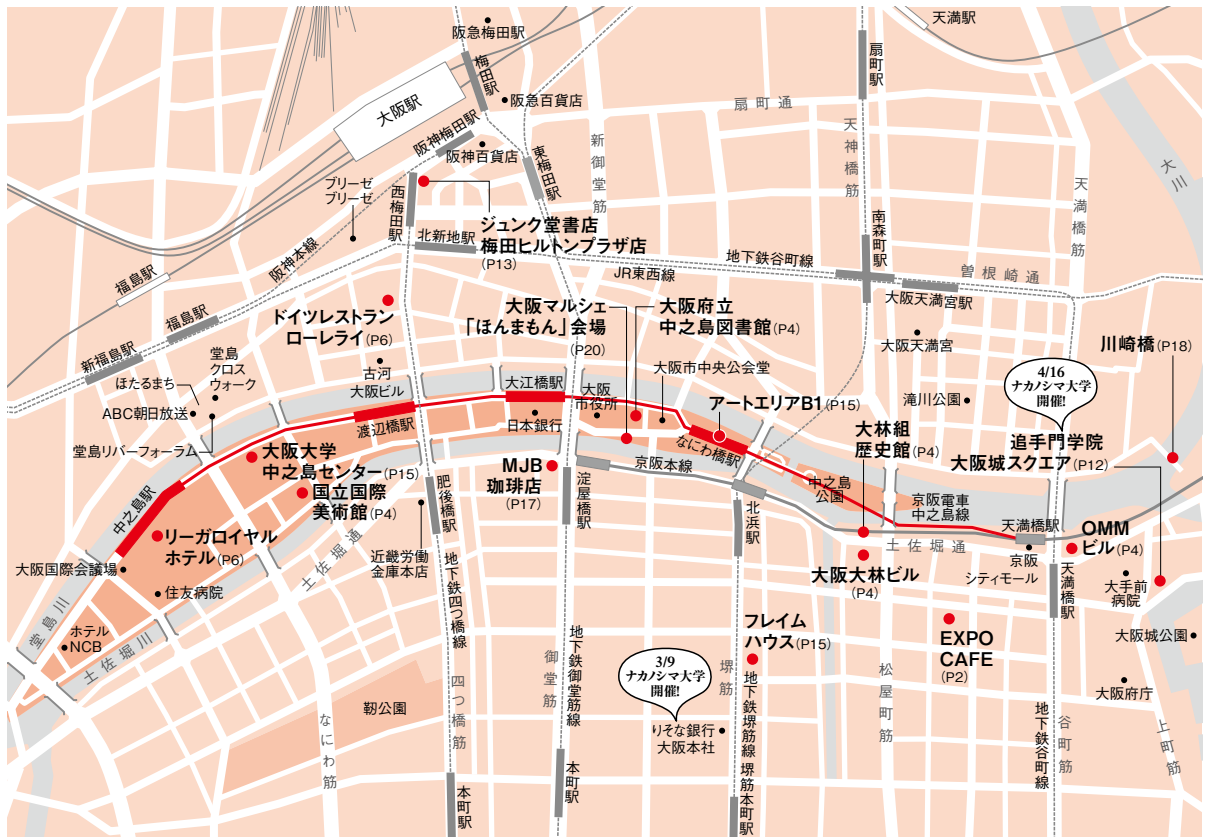
ル・コントワール・ド・ブノワ

大阪市北区梅田2-4-9
ブリーゼブリーゼ33F
106-6345-4388
<http://www.comptoirbenoit-osaka.com/>
ランチ11:00AM～2:30PM (L.O)
カフェ2:30PM～4:00PM (L.O)
ディナー5:00PM～9:30PM (L.O)
不定休



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

京阪電車関連：京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／テリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋

書店：ブックファースト梅田店／旭屋書店 本店／旭屋書店 梅田地下街店／旭屋書店 堂島地下街店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店淀屋橋店／福家書店 淀屋橋店／天牛堺書店 大江橋店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店天満橋店／アマゾン BC OMMビル店／紀伊國屋書店 京橋店／隆祥館書店／なんば書店カルチャーコーナー

公共施設・大学関連施設ほか：大阪市中央公会堂／府立中之島図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪市立中央図書館／大阪歴史博物館／大阪狭山市立図書館／奈良県立図書館情報館／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪企業家ミュージアム／味の素 食のライブラリー／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪大学本部／大阪大学21世紀懐徳堂／摂南大学地域連携センター／慶應大阪リバーサイドキャンパス／追手門学院 大阪城スクエア／追手門学院 大手前センター／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／専門学校中之島美術学院／大阪工業技術専門学校／ろうきんギャラリー心齋橋／大阪倶楽部／芝川ビル／N4タワーマンションパビリオン／ホテルNCB

店舗・医院など：江戸前鰻料理 志津可／ラ・クッカーニャ／アリアスカ マーブルトレ／MANGUEIRA / Girond's JR / じろう亭／ミニロー／黒門さかえ／花かつ／ティーハウスムジカ／MJB珈琲／平岡珈琲店／喫茶SAWA / アンドール本町本店／あじさい／BAR THE TIME 天神／タバーン・シンプソ／パストラーレ／LES LESTON / 大西洋服店／上町貸自転車／サ・メロティ／セブンイレブン大阪証券取引所店／吉田理容所／たまたわ鍼灸整骨院／宮崎歯科／心齋橋山田兄弟歯科／東郷歯科医院／ネルサルونسワンナ

バックナンバーお譲りします。

2008年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありませんか？」と月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき100円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していただく形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。お問い合わせは下記の電話番号まで。

次号予告 大坂の幕末

NHK大河ドラマ「龍馬伝」の影響もあってか、「幕末」が人気だ。
時代が大きく変わろうとしていたこの時期に、
大坂の人々はどのように暮らしたのか、何を考え、どう行動したのかを追う。

●『月刊島民』vol.21は2010年4月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行／月刊島民プレス

若狭健作 綱本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社

あれ、ふしぎ。
 散歩が旅になる沿線です。



伏見・月桂冠大倉記念館
 楠葉けい子（大学生）



京阪の
 人、
 おけいはん。

京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※おかけ間違えのないようにお願いします。
 [平日] 9時～19時 [土休日] 9時～17時 ※12月30日～翌年1月3日は休業

おけいはん 検索
www.okeihan.net

月刊島民 中之島 20号 2010年3月1日発行 編集・発行人/江弘毅(140B) 編集・発行/月刊島民プレス 〒5300004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古川大阪ビル4階 定価0円 Printed in Japan